



・ 次の _____ にあてはまる言葉を書きなさい。

- ① 数直線上で0からある数までの距離を、その数の _____
という。
- ② 乗法では 正負の数についても、乗法の _____、
乗法の _____ が成り立つ。 $\bigcirc \times \Delta = \Delta \times \bigcirc$
 $(\bigcirc \times \Delta) \times \square = \Delta \times (\bigcirc \times \square)$
- ③ かけ算のことを _____ といい、かけ算の結果のことを _____ という。
- ④ わり算のことを _____ といい、わり算の結果のことを _____ という。
- ⑤ 加法・減法・乗法・除法をまとめて _____ という。
- ⑥ 2つの数の積が1になるとき、一方の数を他方の数の _____ という。
- ⑦ 整数の集合は自然数と0と _____ をあわせたものである。
- ⑧ 自然数を素数だけの積で表すことを _____ するという。
- ⑨ 正の整数のことを _____ ともいう。
- ⑩ 正の数は0より _____、絶対値が大きいほど _____。





・ 次の _____ にあてはまる言葉を書きなさい。

① 数直線上で0からある数までの距離を、その数の 絶対値 という。

② 乗法では 正負の数についても、乗法の 交換法則、
乗法の 結合法則 が成り立つ。
$$\circ \times \Delta = \Delta \times \circ$$
$$(\circ \times \Delta) \times \square = \Delta \times (\circ \times \square)$$

③ かけ算のことを 乗法 といい、かけ算の結果のことを 積 という。

④ わり算のことを 除法 といい、わり算の結果のことを 商 という。

⑤ 加法・減法・乗法・除法をまとめて 四則 という。

⑥ 2つの数の積が1になるとき、一方の数を他方の数の 逆数 という。

⑦ 整数の集合は自然数と0と 負の整数 をあわせたものである。

⑧ 自然数を素数だけの積で表すことを 素因数分解 するという。

⑨ 正の整数のことを 自然数 ともいう。

⑩ 正の数は0より 大きく、絶対値が大きいほど 大きい。

